



[エバーグリーンときめきコンサート20160925](#)

[エバーグリーン](#)

9月25日『エバーグリーンときめきコンサート』が伊豆の国市立花台公民館に於いて開催されました。芸術の秋に相応しいクラシックコンサートはエバーグリーン(立花台サロン)の好評企画であり、恒例となっています。今回も会員やボランティアの皆さんを中心に会場は埋まりました。

写真左はピアノ(本郷美津子さん)とトロンボーン(吉田志津代)の奏者。中々珍しい取り合わせと紹介されていました。写真右はエバーグリーン代表の早船さんによる奏者紹介。



[エバーグリーン](#)

[エバーグリーン](#)

好評な企画だけに、30分前から受付が忙しくなりました。受付の矢野さんとそれを手伝う早船代表(写真左)。会場である立花台公民館のホールは取材に伺った1時間前には綺麗に準備されていました(写真右)。



[エバーグリーン](#)

[エバーグリーン](#)

コンサート開始に先立ち、早船代表から奏者の紹介が行われました(写真左)。

◆ピアノ奏者は本郷美津子(ほんごう みつこ・写真左)

県立三島北高校卒業。武蔵野音楽大学卒業同大学大学院修了。

第2回楽友協会音楽奨励賞受賞。

1995年モーツァルテウム音楽院サマーセミナーに参加。

2001年新ブタペスト弦楽四重奏団とブラームスのピアノ五重奏曲を共演。

加藤学園暁秀初等学校講師、県立沼津西高等学校芸術科講師、中部音楽芸術院講師。

シェネヴェレ主宰。

◆トロンボーン奏者は吉田志津代(よしだ しづよ・写真右)

大阪府堺市出身、三島市在住
 中学よりトロンボーンを始め、高校卒業後バストロンボーンに転向。
 単身渡欧し、ウィーンにて研鑽を積む。
 静岡県内において演奏活動、指導も積極的に行う。
 やまがた楽器音楽店音楽教室トロンボーン講師。



[エバーグリーン](#)

[エバーグリーン](#)

最初の曲はバッハ作曲の「G線上のアリア」。吉田さんより、本来はヴァイオリン独奏曲の為に編曲された曲をピアノ伴奏にトロンボーンで演奏すると紹介されました。
 トロンボーンが奏でる音に会場は静かに聞き入りました。音楽はもちろんクラシックに縁遠い私にも音の響きが腹に伝わり、心に響きました。



[エバーグリーン](#)

[エバーグリーン](#)

2曲目から4曲ピアノのソロ演奏が行われました。本郷さんは演奏前に曲の説明をしてくれました。これがまた素晴らしい。曲の裏話や、時代背景など知らない事ばかりでした。話も分かり易く上手です。やはりプロフェッショナルですね。いくつかをメモを頼りに紹介します。
 2曲目のベートヴェン作曲の「エリーゼのために」は本当にエリーゼはいたのか？「テレーゼのために」という曲名だったが、悪筆で解読不可能など何らかの原因で「エリーゼ」となったという説明。本当の所は分かりませんとオチを入れてくれました。
 3曲目はモーツァルト作曲の「トルコ行進曲」、この時代トルコの軍隊は強く格好良かった。そして、トルコ行進曲を演奏するためのピアノがありました。ピアノに鐘がついていて、足で踏むと鐘がなりました。
 4曲目はパダジェフスカ作曲の「乙女の祈り」、ベートヴェン、モーツァルトの時代を少し過ぎたピアノが普及した頃で女性の作曲家。
 この曲を弾くと皆さんにどの曲よりうまく感じてもらえると紹介がありました。その通り、上手く感じました。会場の皆さんも同じ様に感じたのではないのでしょうか。
 5曲目のランゲ作曲の「花の歌」でピアノのソロ演奏は終わりました。
 写真左は曲にまつわるエピソードを手振り交えて笑顔で紹介する本郷さん。写真右は時に激しく、また優しく、そしてリズムカルにと曲に合わせてピアノを演奏する本郷さん。実に体力が必要だと感じました。



[エバーグリーン](#)



[エバーグリーン](#)

吉田さんが再登場し、トロンボーンの説明が有りました。この楽器は讃美歌の伴奏に使われて、神聖な楽器とされていました。協会の勢力が弱くなった19世紀になって、トロンボーンが増えたとの話です。

人の音域で静かな曲が多いと説明が有り、ラッセン作曲の「物思い」が厳かに感じたのは納得できた気がしました。

前半最後のピアノ演奏はリスト作曲「愛の夢 第3番」。リストは唯一日本人が会った人で、ピアノが壊れたとか失神した人がいると言われた作曲家だが、本当かどうか分かりませんと本郷さんから紹介されました。



[エバーグリーン](#)



[エバーグリーン](#)

7曲が終わり、休憩に入りました。会場の後ろに紅茶とコーヒーが準備され、ケーキが各席に配られました。

事務局の高山さんを始め動ける人が自然と手伝っている姿に、このエバーグリーの良さが感じられました。会場に集まった人たちの会話があちこちで見られ良い雰囲気でした。



[エバーグリーン](#)



[エバーグリーン](#)

10分程の休憩が終わりました。まだ会話が聞こえる中、聞きなれた「時の流れに身をまかせ」が演奏されると話し声は消え、曲に耳を傾けるようになりました。上手い選曲であるのに感心させられました。

違う楽器を手にした吉田さんから、ユーフォニウムの紹介が有りました。サクソを作った人がアヘン戦争時代に軍隊で使われる楽器を作った商売上手だと紹介されました。

「めぐり逢い」はトヨタのコマーシャル(トヨタタウン)に使われた曲で聞いたことがあるのではないかと説明し、演奏されました。トロンボーンとは一味違った音色でした。表現が難しく上手く説明できません。



[エバーグリーン](#)

次は、またトロンボーン曲に戻り、ヒダス作曲の「瞑想」。この曲は奇妙な夢を見た感じになると紹介され、演奏に入りました。4オクターブと音域が広いトロンボーンの特徴を生かした曲で、ゆっくりしたと思えばリズムカルなアップテンポになり、素晴らしい演奏で瞑想させていただきました(写真左)。

ショパン作曲の「子犬のワルツ」「幻想即興曲」のピアノソロ演奏を聞き、最後はロシア人作曲家ラフマニノフの「ヴォカリーズ」をピアノとトロンボーン演奏で予定の演奏は終わりました。

しかし、演奏会はアンコールがつきものです。賞賛の拍手が鳴りやまない中、本郷さんよりアンコールに応えてと、これも予定に入れていましたと笑いを誘い、最後の曲「星に願いを」が演奏されました(写真左)。

クラシック音楽の生演奏は、本当に心に響きときめきと元気を与えてくれました。素晴らしい企画で有り、評判が良いのはうなずけました。

演奏が終了し、早船代表より演奏家への謝辞と来場者に挨拶が有り『エバーグリーンときめきコンサート』は終了しました(写真右)。



[エバーグリーン](#)



[エバーグリーン](#)



[エバーグリーン](#)

コンサート終了後、誰の指示もなく協力し合って、あっという間に会場はかたづけられました。ここでもエバーグリーンらしさが見えました。

素晴らしいコンサートを取材させていただき、有難うございました。ケーキは大変美味しかったです。10月の新蕎麦を楽しむ会もぎっと盛り上がる事だと思います。

「健康いきいき心ときめき」のホームページを紹介していただけると助かります。

取材；東部・田方地区生きがい特派員 加藤 孝